



令和5年9月1日
統合幕僚監部

(お知らせ)

ロシア海軍艦艇の動向について

令和5年9月1日(金)午前7時頃、海上自衛隊は、礼文島(北海道)の北約70kmの海域において、同海域を東進するロシア海軍スラバ級ミサイル巡洋艦1隻(艦番号「011」)、ステレグシチー級フリゲート2隻(艦番号「333」及び「335」)及びマルシャル・ネデリン級ミサイル観測支援艦1隻(艦番号「331」)の計4隻を確認した。

その後、これらの艦艇が宗谷海峡を東進したことを確認した。

防衛省・自衛隊は、海上自衛隊第1ミサイル艇隊所属「くまたか」(余市)及び第2航空群所属「P-3C」(八戸)により、警戒監視・情報収集を行った。

スラバ級ミサイル巡洋艦 (艦番号「011」)



ステレグシチー級フリゲート (艦番号「333」)



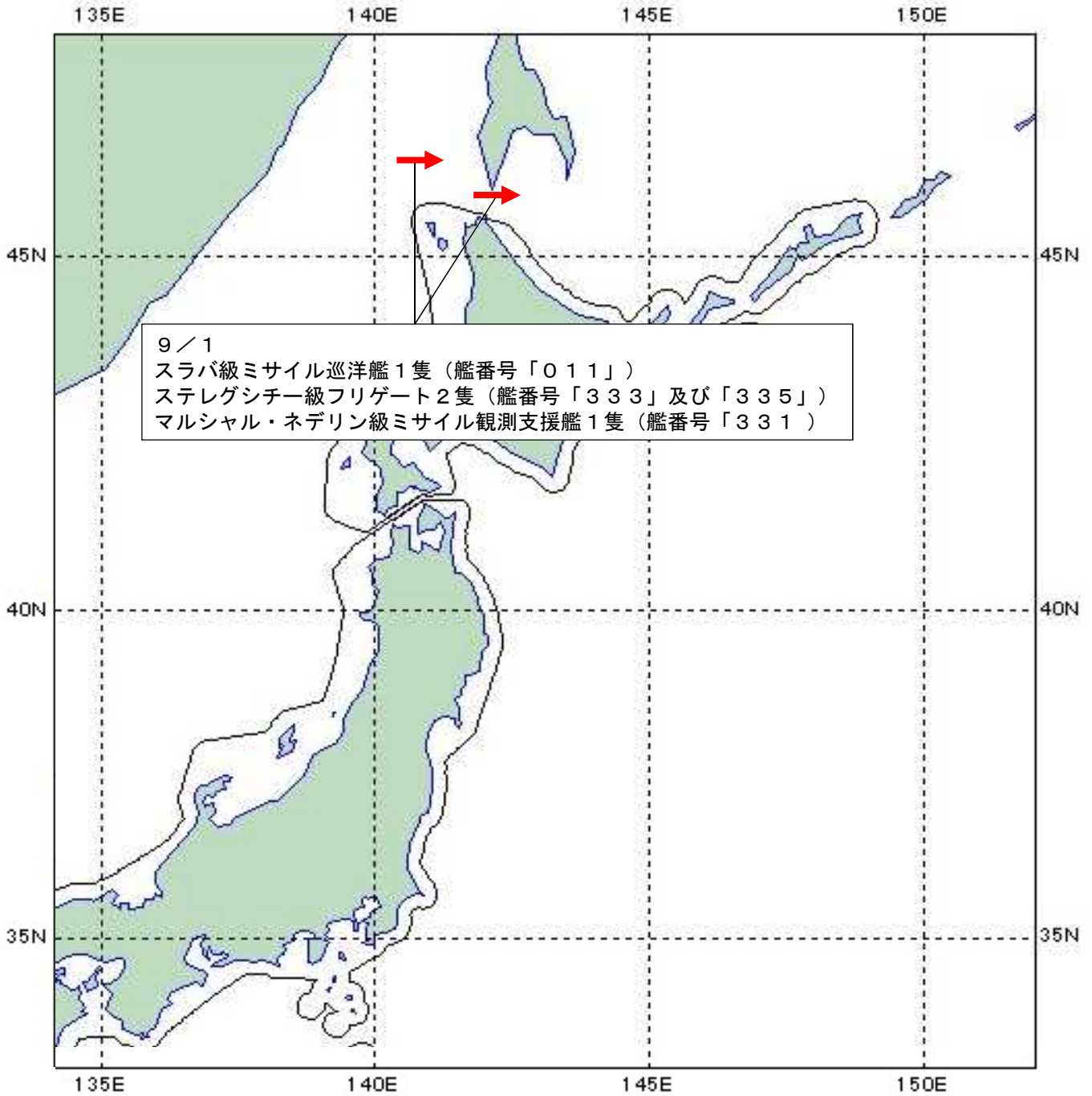
ステレグシチー級フリゲート (艦番号「335」)



マルシャル・ネデリン級ミサイル観測支援艦 (艦番号「331」)



行動概要



→ : ロシア海軍艦艇